

博 士 論 文

場と知識創造

現象学的アプローチによる企業の知識創造活動における「場」の研究

北陸先端科学技術大学院大学  
知識科学研究科 知識社会システム学専攻

露木恵美子

2003年3月

## 謝辞

本論文を執筆するにあたって、お世話になった方々に心からの謝意を表したい。本論文では調査のほとんどをインタビューに依存しているため、多くの方々のお力添えなしに完成することはできなかった。

エーザイ株式会社のみなさん。職場インタビューでは、筑波探索研究所・創薬技術研究所の池田信所長をはじめ、*hhc* 活動のリーダーである池森恵さん、また各テクノロジー・ユニットのサブリーダーの方々にお世話になった。また、医薬事業部東京医薬八部では、木村次郎部長と部員の皆様方に大変お世話になった。さらに、アリセプトに関するインタビューでは、開発から販売まで数多くの方々に貴重なお話を聞くことができた。特に、筑波探索研究所・創薬第一研究所の杉本八郎所長には、数回に及ぶインタビュー以外にも多くの有益なアドバイスを頂いた。インタビュー全体のコーディネートをして頂いた森田宏部長をはじめとした知創部の皆様方にも深くお礼申し上げたい。

㈱前川製作所のみなさんにも、全面的なご支援をいただいた。職場インタビューでは、前川飲料システム(株)の小浜正巳リーダーをはじめとするメンバーの方々、および、技術研究所システムコンポグループの町田明登リーダーをはじめとするメンバーの方々には、お忙しいなか貴重な時間をさいて頂いた。

河野郁徳氏、川村邦明氏、万本信三氏、佐野誠氏、石塚邦明氏、岩崎義夫氏には、数度にわたる長時間のインタビューにおつきあい頂き、多くのコメントやアドバイスを頂いた。また、篠崎純子氏、根本江都子氏には資料収集などの点でご尽力頂いた。特に、パン工場改善プロジェクトのプロジェクトマネージャーであった河野郁徳氏には、事例研究をまとめるにあたり多くの有益なご助言を頂いた。

㈱タカキベーカリーの吉村和男専務と広島工場・千代田工場のみなさんには、工場見学をはじめ、お忙しいところ貴重な時間をさいてこちらの質問に丁寧に答えて頂き、大変お世話になった。

インタビューにおいてお世話になった方々全員のお名前を挙げることはできないが、みなさんの「知」が本論文のエッセンスであることは間違いない。

私が「場」というテーマに取り組むきっかけを与えてくださったのは㈱前川製作所の前川正雄会長と東京大学名誉教授（現、金沢工業大学「場の研究所」所長）の清水博先生である。私が前川製作所に勤務していたときに実践面で「場」への関心を抱いたのは、前川製作所そのものが真摯に「場」に臨んでいたから

である。また、理論面で「場」への関心を開いてくださったのは、清水先生の「場の理論」であった。実践面と理論面での関心が結びついたことが、私が「場」に挑むことになった決定的な理由である。

「場」の理論の展開に関しては、東洋大学哲学科教授である山口一郎先生に心から感謝の意を伝えたい。現象学に不案内な私に、現象学の基礎概念から最新の研究成果までを丁寧にご指導くださり、論文の執筆に際しても細かいアドバイスをくださった。山口先生のお導きがなければ、現象学の観点から「場」を理論的に解釈することは困難であったと思う。さらに、自然科学における「場」の概念の理解には、知識科学研究科の本多卓也先生とのディスカッションが大変参考になった。化学者であり物理学にも造詣の深い本多先生の考え方は、自然科学者の場に対する考え方を私に教えてくれた。

論文の執筆においては、私の学部時代からの恩師である中央大学の石川晃弘先生に感謝している。石川先生の「いつ博士論文を書くんだ」というお言葉に、常に背中を押してもらうことで少しずつ前進することができたと思う。また、東京工業大学の桑子敏雄先生は、草稿を丁寧に読んでくださり構成面での的確なご助言をくださった。心からお礼を申し上げたい。

一橋大学国際企業戦略研究科の野中郁次郎先生には本当にお世話になった。知識科学研究科の第一期生として入学し、野中ゼミの一員となった日から5年間、野中先生の下で研究できたことは望外の幸せであった。「場」というテーマに諦めずに取り組めたのも、「知識」をはじめとした難解な概念にチャレンジし続ける野中先生の研究に対する真摯な姿勢に間近で接してきたからだと思う。先生との「場」に臨むことによって、私の暗黙知も鍛えられ磨かれていったと思う。

最後に、5年間私を支えてくれた家族にこの場をかりてお礼を述べたい。自分のしたいことだけを追及する贅沢を許し、心身ともに支えてくれた夫や両親の支援がなければ、この論文を完成することはできなかったと思う。

「場」の研究を進めるにつれて、「場」の研究は私のライフワークとなるであろうことを確信した。「場」の研究は、まだ端緒についたばかりである。私にとって本論文の成果は、「場」という概念の魅力と奥深さを実感できたことであるように思われる。

豊かな「場」に支えられた幸せに心から感謝して。

2003年3月12日  
露木恵美子

謝辞

目次

序章 問題提起 .....	1
第1節 研究の目的.....	1
第2節 問題意識 .....	4
第3節 分析の視点.....	8
第4節 本論文の概観と構成 .....	12
第1章 理論的背景.....	14
第1節 自然科学における場の概念 .....	15
第2節 組織研究における場の概念 .....	20
第3節 哲学における場の概念.....	29
第4節 経営学における最近の場をめぐる言説.....	61
第5節 理論的背景のまとめ .....	65
第2章 概念枠組みと調査対象・調査方法 .....	70
第1節 場の理論モデル .....	70
第2節 調査対象 .....	74
第3節 調査方法 .....	77
第4節 調査事例の分析と解釈の方法 .....	80
第3章 企業における「場」の事例研究－エーザイ－ .....	83
第1節 エーザイの概要 .....	83
第2節 企業ビジョンと <i>hhc</i> 活動.....	89
第3節 アリセプトの開発と拡販をめぐる場の創造 .....	109
第4章 企業における「場」の事例研究－前川製作所－ .....	137
第1節 前川製作所の概要.....	137
第2節 組織の概要 .....	146
第3節 パン工場改善プロジェクトにおける場の創造 .....	166
第5章 職場における「場」の認識.....	187
第1節 職場における「場」の認識－エーザイ－ .....	187
第2節 職場における「場」の認識　－マエカワ－ .....	204

第3節	それぞれの企業の職場における「場」の認識の特徴 .....	228
第6章	分析と考察：ディスカッション .....	232
第1節	企業における「場」のモデル .....	232
第2節	企業の知識創造活動における「場」 .....	258
第3節	企業の知識創造活動における「場」の機能と役割 .....	275
第7章	結論と含意 .....	283
第1節	結論 .....	283
第2節	理論的含意 .....	287
第3節	実践的含意 .....	288
第4節	今後の課題 .....	290
インタビュー・一覧表 .....		292
1. エーザイ	職場インタビュー .....	292
2. エーザイ	アリセプト関係者インタビュー .....	293
3. 前川製作所	職場インタビュー .....	294
4. 前川製作所	パン工場改善プロジェクト関係者インタビュー .....	295
インタビュー・フォーム .....		296
参考資料（職場インタビューのまとめ） .....		299
創薬技術研究所 .....		299
東京医薬8部 .....		307
技術研究所システムコンボグループ .....		313
前川飲料システム（株） .....		321
参考資料 .....		330
参考文献 .....		332